

法学委員会 「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会  
(第24期・第3回) 議事要旨

日時 2018年8月6日(月) 14時～17時

会場 日本学会会議5-C(2) 会議室

出席者 糠塚康江 三成美保 稲正樹 岩谷十郎 小澤隆一 川嶋四郎 小森田秋夫

谷口洋幸 長谷河亜希子 平山真理 松本尚子 南野佳代 三阪佳弘 渡邊弘

欠席者 小林傳司 愛敬浩二 秋野成人 浅倉むつ子 糊澤能生 田中教雄 中里見博

二宮周平 三成賢次 吉田容子

議事

- 1 初めて会議に参加される岩谷十郎委員、渡邊弘委員から自己紹介があり、出席の各委員からも自己紹介があった。
- 2 第2回分科会(2018年5月28日)の議事要旨をメールで回覧することとした。
- 3 渡邊弘委員から「新科目『公共』と法教育—生徒の実態、ならびに高大接続システム改革を視野に」と題して、資料に基づき報告が行われ、質疑を行った。
- 4 川嶋四郎委員から「新設科目『公共』と法教育—私的紛争解決の側面から」と題して、資料に基づき報告が行われ、質疑を行った。
- 5 今後の分科会の予定  
三成委員長より下記の提案があり、了承された。  
①年内または新年の早い時期にシンポジウムの開催を企画する。このシンポジウムでは、新科目「公共」に関わって、高校教員や教科書出版社のスタッフの参加を得るべく工夫する。それらを通じて、今期の活動として提言の作成を位置づけたい。  
②10月か11月にシンポジウム準備のための分科会(第4回)を開催する。後日、日程調整を行う。  
③シンポジウムの準備作業を委員長、副委員長、幹事の4人で行うが、その際、新科目「公共」を小澤委員が、同科目の授業で取り上げる事例の検討を糠塚委員が、法学「参照基準」のバージョンアップを三阪委員が担当することとした。

以上